

春の火災予防運動



野火火災に注意しましょう！

※毎年この時期は積雪がなくなり、露出した枯草等がごみ焼きの飛び火やたばこの投げ捨てにより火災化する野火火災が多発しています。春先は空気が乾燥し、風が強いので火災は急速に拡大します。

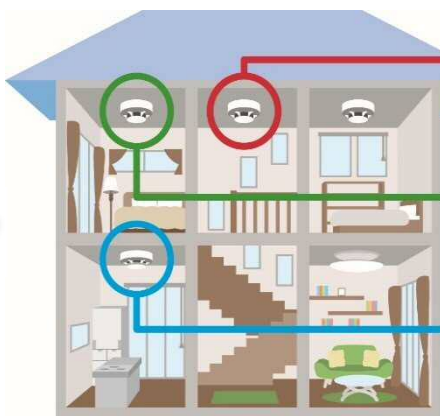
- ごみ焼き、たばこの投げ捨てはやめましょう。
- 河川敷や公園でのバーベキューをする際は、適切な場所で行うとともに、炭の処理はきちんとしましょう。



住宅火災を防止しましょう！

※火災はあなたの大切な資産や人を一瞬で奪います。以下の3つの対策が有効です。

●住宅用火災警報器を設置しましょう！



階段

就寝室のある階の階段に設置が必要です。

就寝室

普段、寝室として使用している部屋に設置が必要です。

台所

札幌市では台所への設置が必要です。

電池交換のサイン



※10年を目安に交換が推奨されています。

●消火器（自動消火装置）を設置しましょう！

自動消火装置～市内居住の65歳以上の高齢者のみの世帯は、購入・設置に要する費用の9割が助成されます。

(一世帯2台まで)

防災品・非防災品

●防災品を使用しましょう！

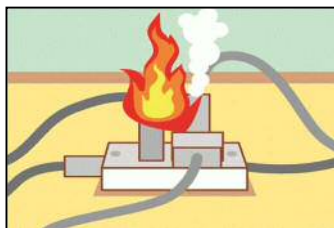
炎に触れても燃え広がらず火災の拡大を防ぎます。



各火災を防ぐポイント！（自分でチェック！）

（電気・たばこ編）

- タコ足配線はしない。
- 傷んだコードは使用しない。
- コンセントの差込口は清掃する。
- 寝たばこ、くわえたばこはしない。
- 屋外でのたばこの投げ捨てはしない。
- 灰皿はいつもきれいにする。



（こんろ編）

- こんろから離れる時は火を消す。
- こんろ付近は整理整頓する。
- こんろ付近に燃えやすい物は置かない。
- こんろは壁から離して使用する。
- ※火の入った油に水をかけると急激に拡大するので絶対にやめましょう！
- 安全装置がついた機器を使用する。



↑火災再現実験動画はこちら！

（放火編）

- 家の周りに燃えやすいものは置かない。
- 物置・車庫には鍵を掛ける。
- ゴミは指定された日に出す。
- 郵便受けに手紙等をためない。
- 夜間、防犯ライト等を使用する。



（他）

- 家電製品からのリコールによる火災もあります。あなたのご自宅は大丈夫ですか！？
- 火災のほかに最近では地震や大雨等の自然災害が多発しています。

自然災害の力は恐ろしく、当たり前の生活が一瞬で当たり前でなくなります。今一度、防災グッズを見直すとともに、自助・共助について考えましょう！

また、近年は揺れを感じると自動的に電気を遮断する「感震ブレーカ」もあり、地震後の通電火災の防止に有効です。

問い合わせ先
中央消防署予防課防火推進係 高玉・平岡
☎011-215-2120